

インターハイ予選 第2回戦 秋草学園戦 惜敗

インターハイ予選の第2回戦、秋草学園との対戦において、私たちは惜しくも敗れましたが、自分たちのスタイルを貫き、最後まで全力で戦い抜きました。

「ファーストストライクから積極的にバットを振る」というテーマのもと、バッター一人ひとりが思いきりバットを振りにいきました。守備面でもエラーはなく、緊張感のある中で自分たちらしい試合を展開することができました。また、多くの保護者の皆様の温かい応援に支えられ、選手一同、最後まで力を出し切ることができました。

3年生7人のうち、5人は高校に入ってからソフトボールを始めました。入部当初は、ゴロを捕ることさえままならず、バットスイングもぎこちないものでした。しかし、この2年2ヶ月の毎日の練習を通して、確かな技術と自信を身につけ、今では強豪校を相手にしても臆することなく、堂々とプレーする姿を見せてくれました。

この試合をもって3年生は一区切りとなりますが、これまでの努力と成長は、チームに大きな力を与えてくれました。今後は、下級生がその背中を追いかけて、さらにチームを発展させていきます。引き続き、ご声援のほどよろしくお願いいたします。

